

醗酵槽棟機械設備保守点検業務委託仕様書

1. 攪拌機

①走行装置

- 1) 各チェーンカバーを取り外し、チェーンやスプロケットの腐食、摩耗及び弛みなどを確認し、弛みがある場合には適正な張りに調整しなければならない。ただし、腐食等が著しい場合には監督職員と協議のうえ、交換など適切な処置をすること。
- 2) 作業通路（センター通路）側走行（ウレタン）車輪の点検については、ホイールからのウレタン剥離有無の確認、軸（シャフト）との嵌めあいを確認する。
- 3) ガイドレール側走行車輪の点検については、レール及び車輪に腐食、摩耗及び錆などが著しく進行していないか確認する。
- 4) ベアリングの破損、腐食及び摩耗などを目視での確認、走行させて異音の発生の有無を確認すること。なお、破損などがあつた場合は監督職員と対応を協議し、適切な処置をすること。
- 5) 走行用駆動モーター・減速機の異音、異常振動、発熱がないか、減速機のギアの駆動状態での異常の有無を確認すること。
駆動モーター・減速機の締結器の摩耗や緩みがないか確認すること。カップリングや回転軸へのグリス充填を行うこと。

②ロータリー装置

- 1) 外観部分については、著しい腐食、錆などの有無を確認すること。著しい腐食等を確認した場合、監督職員と協議して補修の有無を確認すること。
- 2) ロータリーチェーン及びスプロケットの点検については、腐食（チェーン）、摩耗（チェーン・スプロケット）、弛み（チェーン）などを確認し、弛みがある場合には適正な張りに調整しなければならない。ただし、腐食等が著しい場合には監督職員と協議のうえ、交換など適切な処置をしなければならない。
- 3) ロータリー回転用ベアリング及びチェーンの点検について、ベアリングは腐食、錆及び回転時の異音など総合的に判断し破損の有無を確認する。ただし、軸・パイプ溶接箇所が破断している場合もあるので、慎重に点検を行うこと。また、破断が確認された場合は監督職員と協議のうえ、補修など適切な処置をすること。点検終了後、チェーンの緩み調整や回転部グリス充填を必ず行うこと。
- 4) 攪拌機を運転して、パイプ回転用モーターから異音、異常振動及び発熱の有無を確認すること。併せて、スプロケットの摩耗、腐食、歯先形状を確認すること。異常や摩耗が確認された場合は監督職員と協議のうえ、適切な処置を行うこと。

- 5) 堆肥攪拌用パイプ、パドル及び攪拌用爪の摩耗、錆・腐食、亀裂、変形の有無の確認をすること。摩耗・亀裂など発見した場合は監督職員と協議のうえ、適切な処置を行うこと。

2. 制御機器

- 1) 各リミット点検は電気主任技術者と連携して、リミット本体への水分の浸入が無いか確認、ロッドアクチュエーターの可動の確認、スイッチのオン・オフの確認を行うこと。
- 2) 各リミットを交換する場合、交換後に電気主任技術者と連携し動作確認を行わなければならない。

3. 巻取り装置

- 1) チェーンの腐食、摩耗、錆及び緩みの確認、チェーンの緩み調整及びシーベル部のカーボン等の確認を行わなければならない。
- 2) 巻取用モーターの動作確認を行うこと。外観部分については、著しい腐食、錆などが無いか確認すること。モーターやスプロケットの異音、発熱、摩耗、歯先形状及び腐食が見られた場合、監督職員と協議して交換等補修の指示を確認すること。
- 3) 電源コードのケーブルの捩れ、電線被覆の亀裂の有無を確認し、亀裂などみられた場合、監督職員と協議して交換等補修の指示を確認すること。

4. 送風ブロア（一次・二次発酵槽）

- 1) 風量計を用いて適正な風量が確保されているか確認すること。風量が適正量に至っていない場合、フィルター部の清掃、排出側の点検・清掃を行うこと。
- 2) 外観部分については、著しい腐食、錆などが無いか確認すること。著しい腐食等が見られた場合、監督職員と協議して補修の指示を確認すること。

5. 脱臭ブロア

2 台のブロアについて、次の点検項目を点検すること。

- 点検項目
- ・モーター軸受の異音、軸ブレ
 - ・ベアリングの異音、軸ブレ
 - ・Vベルトの切れ、緩み及び張り調整
 - ・ベルトプーリーの芯ズレ、摩耗
 - ・羽根の異音、芯ズレ

6. 脱臭配管・電磁弁

- 1) 配管の継ぎ目等から水滴の漏れがないか点検をすること。もし漏れがある場合は補修すること。（コーキング剤・アルミテープなど）

- 2) 一次発酵槽の脱臭配管に取り付けてある電磁弁の動作確認については、電気主任技術者と連携して動作確認を行うこと。開閉動作をしない電磁弁がある場合、監督職員と対応を協議すること。

7. 試運転

- 1) 堆肥攪拌機を通常作業で試運転して異音など発生していないか最終確認をすること。
- ・ロータリーパイプを回転した状態での確認
 - ・走行装置の確認
 - ・リミット、非常停止装置など機器の制御信号の確認
 - ・電源ケーブル巻取装置の確認
- 2) 発酵槽（1次・2次）の送風機の作動確認
- 3) 堆肥選別・袋詰施設の各ライン（フレコン側・選別側）の連続運転時の各供給機からフレコン供給機及び堆肥選別機までの起動から停止までの動作確認

8. 点検報告書作成

- 1) 点検報告書として提出する内容は次のとおりとする。

- (1) 目次
- (2) 点検結果総括表（不具合、要望等）
- (3) 点検結果表
- (4) 作業実施工程表
- (5) 点検機器リスト
- (6) 点検時写真

- 2) 点検報告書の様式

点検報告書は原則としてA4判ファイル綴じとし、点検時の写真も併せて提出すること。